

☆置き字

文中で語句と語句の関係を示したり、文末で断定、完了、疑問などの意味を示したりする字を助字というが、その字の文法的意味が送り仮名によって表されるために訓読しない字を置き字という。七つの置き字を覚えよう。

| 兮 (ケイ) | 焉 (エン) | 矣 (イ) | 于 於 乎 (ウ) (ヲ) (コ) | 而 (ジ) | 置き字 |
|---------------|----------------------------|------------------------------------|--|---|-------|
| 句中 句末 | 文末 | | 文中 | | 場所 |
| リズムを整える | 断定・完了・ 意志・疑問・ 強調・詠嘆 | 断定・完了・ 意志・命令・ 強調 | 時間・場所・ 対象・起點・ 比較・受身 | 順接・逆接 | 意味 |
| 詩の句中や句末に置かれる。 | 文末に置かれる。「ナリ」「リ」などを置くこともある。 | 文末に置かれる。直前の語に「ナリ」「リ」「ン」などを置くこともある。 | 前置詞の働きとして補語の前に置かれる。補語に「ニ・ヨリ(モ)」を付けて訓読する。 | 二つの用言句の区切りを示す接続詞。順接、逆接の役割があり、直前の語に「テ・シテ・ドモ」を送る。 | 文法的働き |

※()は授業中などに便宜上使うための読み方です。